



## 学校だより ふうしゃ

平成31年4月10日  
アムステルダム日本人学校  
No. 1  
<http://www.jsa.nl/>

平成31年度がスタート！

校長 向原 正博

校舎の前の桜もすっかり満開になり、待ち遠しかった春の到来です。保護者の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年度は、

さて、今年度も学力向上を中心に、様々な学校行事を通じて、お子様の可能性を伸ばしていくことができるように、全職員で力を合わせてがんばっていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 【本校の学校教育目標】

児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、明るい未来を創り出す国際人としての基盤を培い、オランダに生きる規律ある児童生徒を育成する。

【校訓】 強く 明るく 豊かに

### 【始業式の話】

今年のオランダは、例年以上に温かく、学校の桜も満開を過ぎてしまったように思えます。この春は、日本でもオランダでも、大きな変化がありました。校庭を見てみると、運河沿いに植えられていた大きなポプラの木がなくなり、とても明るくなりました。

日本では、4月いっぱいまで平成が終わり、令和という新しい時代が始まります。令和という意味は、「明日への希望と共に、日本人1人1人が大きな花を咲かせる」という意味がこめられているそうです。

みなさんは、5月からと言わず、早速今日から、明日への希望を持ち、一人一人が自分の目標に向かって、大きな花を咲かせることができるように努力をしてほしいと思います。

大きな花を咲かせるには、どうすればいいかを、メジャーリーガーのイチロー選手がこんな風に話していました。「偉大な記録も毎日の積み重ねです。毎日、少しずつ積み重ねることで、偉大な記録は作られるのです。」

同じようなことわざはたくさんありますね。「ローマは一日にしてならず。」

「雨だれ、石をも穿つ」「継続は力なり」

何日かがんばるってのは、誰にでもできます。でも、努力を続けることはなかなかできません。努力を続けることができる人は、偉大な人になれます。ぜひ、みなさん、明日への希望を持ち、みなさんの大きな花を咲かせてほしいと思います。